

安全と環境を考えるニシオの広報誌

1994

Vol.2

No.8

安全くん

“春が来た新人がきた・・・”の巻

～新規入場者教育について～



それ行け!! 安全くん

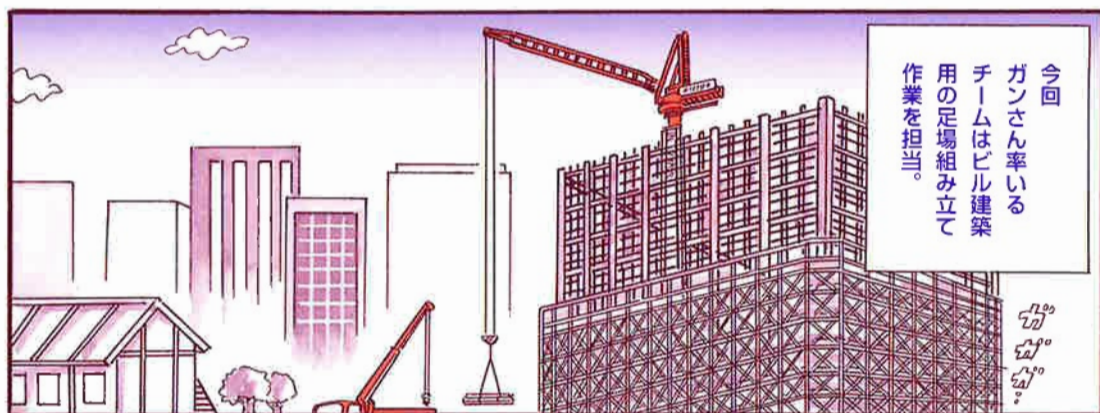
画 中村よしのぶ

春がき〜たア



連載 その8

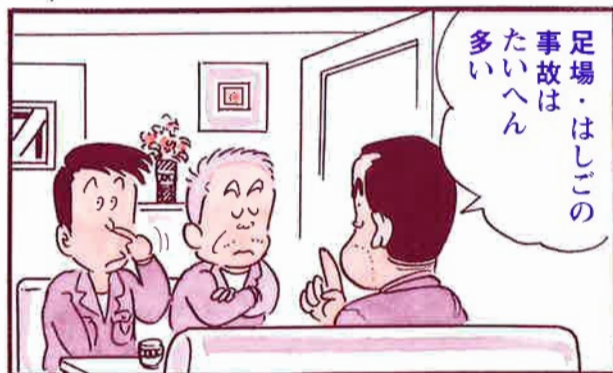
“春が来た新人がきた…”の巻



高 作造



若井 健



ガンさんのフシポイントレッスン

横着本能をしめ出せ!

災害が発生するたびに「なぜこんなことで災害が起こったのだろう」と考えさせられることがよくあります。例えば「角パイプを肩に担いでいて、その一本が足の甲に落ちた」「梁筋の上を歩行中、足を踏み外して打撲した」等々。

人間の行為を探ってみると、「近道反応」と「省略行為」という二つの傾向があることがわかります。

「近道反応」とは定められた道を通らずに近道をすることで、現場で枠組足場を登り降りしたり、通路を通らず材料の上を歩くなどの行為のことです。「省略行為」とは面倒だから一回でやってしまう、慣れているから安全具を使わなくても大丈夫と、決められた手順や道筋を省略してしまうこと。現場のいたるところで当たり前のように行われている「近道反応」や「省略行為」の二つを一括して「人間の横着本能」といいます。

この横着本能は、作業に慣れた頃、つまり注意意識が低下した頃に出てくるのです。一日のうちで最も災害が多発している時刻は午前10時と午後3時前後ですが、これは作業が始まってちょうど作業に慣れた時間帯なのです。

不安全行為をなくすためには、横着心をなくすことです。現場の職長は作業員一人ひとりの動作を監視して、横着心が行動に出ていれば即刻注意を与えてください。

※出典/建設業 職長安全手帳より (株) 清文社 発行





ここが重要!!

用語解説コーナー

新規入場者教育の内容事例

(予め資料を作成しておくとも便利)

1. 工事概要

①工事名称、②工期、③建物の概要(敷地面積・建築面積・構造・規模)他、立地条件、工法、現場の特殊性など。

2. 基本心得

①安全スローガン ②安全衛生管理方針 ③全工期安全目標 ④重点実施項目

3. 作業所の行事=安全施工サイクル

①毎日/体操・朝礼、安全ミーティング、KYK、始業前点検、安全パトロール、安全工程打合わせ、持場後片付けなどの内容と開始時刻。
②毎週/週周点検、週周一斉片付けなどの曜日と時刻。
③毎月/月例点検、安全衛生大会の実施予定日。

4. 安全衛生管理体制=作業所の組織・機構

各責任者、管理者、担当者および職長、作業指揮者、作業主任者など。顔写真も用意するとわかりやすい。

5. 作業環境・施設などの場所と注意点

①事務所・厚生施設 ②用具・資材の保管場所 ③消火器・喫煙所の場所 ④救急用具の設置場所 ⑤現場内外の危険箇所 ⑥付近の交通規制 他

6. 各作業の概要と手順、安全上の留意点

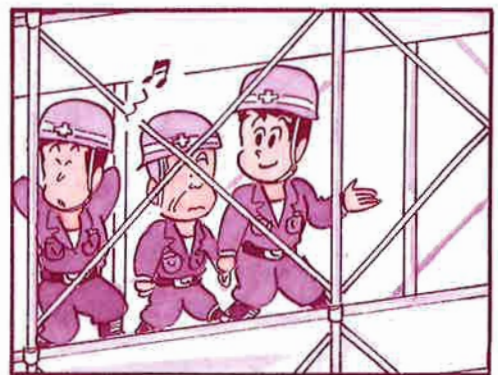
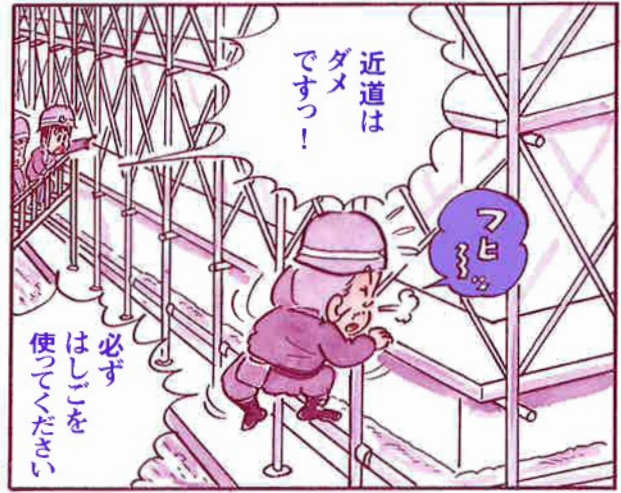
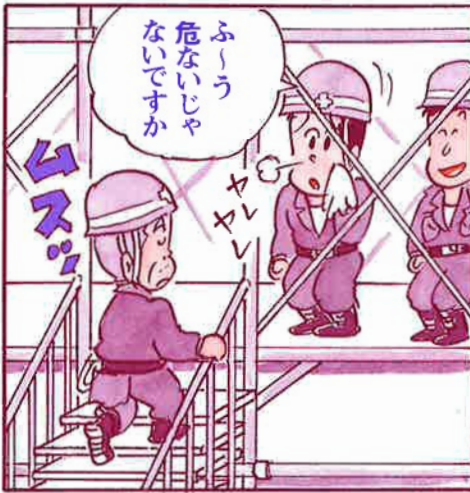
①保護具の使い方②作業機材の使用法③その他、安全指示事項など(作業指示書を作成し、それに従って説明すること)

7. 服務規律(まとめ)

安全管理の進め方やルール。その他、業務に関連して発生する疾病の原因と予防、整理・整頓と清潔の保持、事故などの際の応急措置と回避など。

それ行け!! 安全くん







商品紹介

トラック搭載 クレーン

様々な工事に活躍する
トラック搭載クレーン。



資格：小型移動式クレーン運転技能

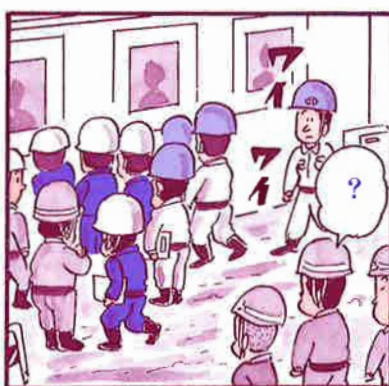
商品紹介

フォークリフト

適応現場に合わせ
0.7t～3.0tまで
各種取り揃えてお
ります。



資格：フォークリフト運転技能



ここが重要!!

用語解説コーナー

玉掛け作業のチェックポイント

状況に応じて正しく実施しましょう。

1. 他職との連絡調整を行う。
2. 指名された有資格者が作業を行う。
3. 玉掛け用ワイヤーロープ、シャックル等の点検を行う。
4. 玉掛け用のワイヤーロープのつり角度はよいが確認する。
5. 必要に応じてあて物、養生をする。
6. 長尺物は、2本づりする。
7. かいしゃくロープを使用する。
8. 地切りを確実にを行う。
9. 台付けワイヤーロープを玉掛け用に使用しない。
10. 一定の合図を決め、指名した者にその合図を行わせる。
11. 関係者以外の立入禁止の措置をする。

玉掛け作業に台付けワイヤーの使用はダメ。

クレーン等安全規則第219条にて、玉掛け用の構造は定められていますが、台付け用は荷物の固定、ひかえ索、自動車のけん引などに用いられるもので、構造についての規制もなく強度も弱いからです。

〔構造上の相違点と見分け方〕

●玉掛け用

丸差し（ストランドを丸のまま差し込む）3回以上、さらに半差し（ストランドの素線を2分し、半分を差し込む）2回以上。丸差し4回以上の場合、半差し1回以上。差し終わりがなだらかで、ひげの切り口が12箇所ある。「圧縮止め」=パイプ状のアルミ合金などのスリーブにロープを入れ、プレスで圧縮したもの。

●台付け用

通常、丸差しを4～5回。差し終わりが段付きになり、ひげの切り口は6箇所しかない。

